



改憲・加憲で

第39回生協大会

社会はどう変わる！

8月28日辞任表明した安倍首相は、在任7年8カ月の間に、集団的自衛権行使の閣議決定、秘密保護法、安全保障関連法、いわゆる「共謀罪」法などの制定を行い、「戦争ができる、戦争をする国づくり」を着々と進めてきました。辞任の記者会見で「憲法改正、志半ばで職を去ることは断腸の思いであります」と無念を語ったほか「誰が総裁になっても当然、取り組んでいかれる」などと述べ、次期政権に引き継がせる執念も示していました。安倍元首相の影響は今後も色濃く残る可能性が大了。日本国憲法(戦後の憲法)は、国家権力を縛り、個人を大切に、平和を守ってきました。改憲・加憲で社会はどう変わるのか?生活者目線での講演をしていただきます。

オンライン(ZOOM)で、メイン会場からサテライト、各会員生協・個人をつなぎます。

☆開催日時

2020年10月28日(水)13:00~15:00

☆開催場所

メイン会場:ラコパふくしま 5F「B・C 会議室」

サテライト:会津若松市文化センター

パルシステム福島「みんなの交流館」

会員生協:それぞれの会議室や組合員ホール

個人参加:自宅のパソコン・タブレット・スマホで参加

但しメールで事前申込みが必要です。先着100名様まで。



《プログラム》

13:00 開会あいさつ
主催者あいさつ

13:05 基調講演「改憲・加憲で社会はどう変わるか?」 講師: 太田伊早子さん



横浜法律事務所所属(神奈川県弁護士会)2009年弁護士登録。事務所のモットーである「権力、財力、腕力のない人」の側に立つ弁護士として、労働事件、消費者事件、家事事件、少年事件等を中心に様々な事件を取り扱う。憲法を知ることによって自分自身の価値に自信を深め、同じように価値をもつ他者と共に生きていくことについて思いを馳せる人が増えることを願い憲法講演を多数行う。

14:20 各地域から 今年には福島・会津・いわきの会場参加者3人からメッセージ

14:35 わくわくミニコンサート コロナ疲れを癒せればとお楽しみ企画を準備しました

15:00 閉会

主催:福島県生活協同組合連合会

協力:一般社団法人福島県労働者福祉基金協会

福島大学食農学類地域連携推進室

恵美&晶子デュオによる

わくわくミニコンサート

コロナ疲れにひとときの安らぎを

柴田晶子さん(口笛)



秋田県出身さいたま市育ち。

「音楽としての口笛」を世に広めるべく、数少ないプロ奏者として活動を行っている。国際口笛コンクールにおいて2010年(中国)/2012年(アメリカ)女性部門優勝、2019年マスタース口笛音楽コンクール(アメリカ)において男女総合優勝を受賞。近年は大会審査員も務める。海外でも数多く演奏を続け、2020年埼玉グローバル賞を受賞。3オクターブという広音域と、あたたかみのある澄んだ音色に定評がある。飛鳥IIなどの客船での演奏、NHK大河ドラマ「いだてん」テーマ曲・劇中歌に参加、日テレ「嵐にしやがれ」・TBSラジオ「安住紳一郎の日曜天国」に出演等、多方面で活躍している。

藤野恵美さん(ピアノ)

福島県鏡石町出身。

宇都宮短期大学音楽家電子オルガン専攻コース卒業。ブライダルやセレモニーでエレクトーン・ピアノなどの鍵盤演奏を経て、現在クラシックやシャンソンなどのヴォーカリストや口笛の伴奏、朗読舞台での即興演奏など、枠にとらわれず幅広いジャンルの音楽活動を行っている。また、学生時代から作曲に取り組み、2004年からはシンガーソングライターとして福島県を中心に県外のライブハウスでも演奏を行う。多くのミュージシャンから信頼が厚く、キーボーディスト・ベーシストとして複数のバンドにも所属する。



Zoom ウェビナーによる申込方法

申込方法:下記 Google フォームより事前登録を 10月15日まで
お願いします。先着 100 名様限り
(後ほど登録者に Zoom の招待コードを送付します。)

<https://forms.gle/ALjbwG1AkBkY2vz37>

(右の QR コードからアクセス)



問い合わせ 福島県生活協同組合連合会

福島市仲間町4番8号ラコパふくしま 4F

☎ 024(522)5334 📠 024(522)2295

email:fukushima.rengokai@ma9.seikyou.ne.jp

URL:<http://fukushima.kenren-coop.jp/>

